

会 議 記 録

作成部局課名 真田地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 20年 6月 17日(火)	開催時刻	15時 00分から 18時 00分
会議名	真田地域協議会(平成 20年度第 3 回))		
出席者	委員 1 8 名(欠席者 2 名)		
市側出席者	小市センター長・センター全課長・渡辺地域振興課長・塚田地域政策係長 武捨主査・宮島主査		
傍聴者	4 名		
会議次第			
1 開会(佐藤副会長)			
2 会長あいさつ(清水会長)			
3 センター長あいさつ(小市センター長)			
4 協議会委員の変更について(渡辺地域振興課長) 下条幹男委員(山崎隆喜委員の辞任に伴い、後任として団体より推薦)			
5 会議事項			
(1)真田地域自治センターの重点目標について(真田地域自治センター)			
【説明要旨】			
・平成 19年度の重点目標の取組み結果(資料)			
・平成 20年度の重点目標(資料)			
【主な質疑・回答】			
(会長)菅平地域の情報基盤整備について詳しく説明してほしい。			
(センター長)菅平地区では、テレビの難視聴関係(地上デジタル放送化に向けて)と高速な通信環境整備(インターネット等)への対応が急がれている。市では、上田ケーブルビジョンを通じて今秋ぐらいから住民に行政情報をお知らせする準備を進めている状況の中、菅平地区が情報の空白地帯とならないように考えている。インフラ整備としては、情報量を支えられる光ケーブルを敷設することなどがこの事業の骨子である。			
(委員)有線放送のあり方検討はどのような観点で進められるのか。			
(地域振興課)市には現在 6 つの有線放送があるが、市営は塩田有線と真田有線だけである。また、携帯電話の普及などの時代の変化に伴うあり方の検討も必要になっている。さらに合併協議でも 5 年を目処に有線放送のあり方を検討することになっている。			
(2)わがまち魅力アップ応援事業審査について(事務局)			
・審査方法の確認について			
・審査			

ア 個性あるふるさとづくり応援事業

提案事業 ダボスの丘遊歩道整備事業（菅平区）

事業概要

〔事業の目的及び効果〕

「日本のダボス」とその美しさを絶賛され、菅平高原を代表する景勝の地である「ダボスの丘」に、区民の手で菅平高原のシンボルとして相応しい遊歩道を整備することにより、地域の一体感の醸成を図るとともに、高原の緑を守り、区民のやすらぎの場を確保する。また、遊歩道を活用したトレッキングイベント等を開催し、菅平高原の魅力を広域に発信する。

〔事業費等〕

1年目 総事業費 1,563,220円 申請補助金額 1,500,000円

【主な質疑・回答】

（委員）自然公園法の適用地域であるがこの計画は大丈夫か。

（事務局）自然環境の保全する取組であることから、この遊歩道整備は問題がないと聞いている。

イ 特色あるまちづくり応援事業

提案事業 あずまや高原を憩いの広場に育てる事業

（らいてうの家運営委員会：説明者 花岡静枝さん）

事業概要

〔事業の目的及び効果〕

らいてうの家の所在地であるあずまや高原は、近くに県の薬草園もあり、手つかずの自然に恵まれている。ここを中心に多くの市民が楽しめる「憩いの広場」として育てる活動を通じて、地域住民の連帯と全国からの訪問者との交流を深め、地域の活性化に貢献する。

〔事業費等〕

1年目 総事業費 746,660円 申請補助金額 549,000円

（来年度申請見込額 451,000円）

【主な質疑・事業申請者等からの回答】

（委員）講師の送迎について、上田駅かららいてうの家までの旅費も含めたらどうか。

（花岡）ボランティアで今までも送迎してきた。できることは、会で行うという考え方だ。

（委員）「らいてうの会」は全国組織ではないのか。

（花岡）らいてうの家を拠点に地元で開催する事業については、上田平塚らいてうの会・真田平塚らいてうの会・NPO 法人平塚らいてうの会（全国）が共同して行うこととして運営委員会を設立した。

（委員）参加者負担金が増えた場合や減った場合への対応は。

（花岡）会として相応の自己負担も考えられる。

（事務局）参加者負担金の扱いですが、実績報告に基づいて補助額が決定されることから、

参加者負担が多くなれば補助金は減額されます。参加負担金が少なくなった場合は、交付金決定額が上限となります。

(会長) 補助金が終わった時点で事業が中止とならうよう進めてほしい。

～ (事務局) 審査表の回収・まとめ～

(3) 真田地域図書館施設整備について (担当課: 真田教育事務所)

【説明要旨】

・ 図書館施設整備に係る地域協議会協議経過について (資料)

【主な意見】

(会長) 議論の堂々巡りをしたくないことから、今回は市から提案された地域自治センター1階に図書館整備することの可否について議論します。今回は、過去の経緯などについては議論しません。

(委員) 地域自治センターは、地域の拠りどころ。図書館以外に活用すべき。

(委員) 地域自治センターは、例えば地域防災の拠点としても活用できる。図書館以外の利用方法がある。

(委員) 自治センター1階を図書館にするという市の提案に賛成の委員はほとんどいないと思う。整備するにあたっての市の条件は、利用度と経費の問題と理解している。それをクリアできる新たな場所について議論すればよい。

(委員) 新たな図書館ではなく、今の真田図書室を拡充すべき。

(委員) 自治センター(行政機能)を利用する高齢者のことを考えれば、公聴会の意見でも多かったように自治センター1階への図書館整備は難しい。

(会長) 市側とは、人が集まる場所として、例えば消防署付近でも良いのではないかという議論もあった。そのことも踏まえ、第3の案についても視野に入れた意見をいただければと思う。

(委員) 真田地域 PTA 連合の会合で図書館整備について話し合われた。子ども達の安全性を絶対と考えた上で、中学校に近い県道沿いが最適という意見が多く、これが地域の小中学校 PTA の総意と言える。

(委員) 地域自治センターを有効利用する観点では、市から提案されたセンター1階案はとも現実味がある。普段役所に縁のない子ども達がセンターに訪れる機会といった面で面白い案と感じているので、あえて市からのセンター1階案を否決することもない。

(委員) 前回の協議会では、現地を実際に見るということから、昼間に協議会を開催することとなったと思う。ここで想像しながら議論するよりも現地を見ながら検討することも大切である。

～現地見学～

地域自治センターの1～3階 運動公園付近 真田図書室（真田文化会館）
旧真田消防署付近

（会長）百聞は一見にしかずということで、現地を見た上でのご意見をいただきたい。

（委員）旧消防署付近が一番良いのではないか。協議会としての早く場所を決定し、次の段階に進むべき。

（委員）図書館を早く造ってほしいという意見を聞いている。

（委員）運動公園周辺への図書館整備は無いと感じた。地域自治センター付近への整備が良いのだろう。そして、旧消防署付近が新しい独立した建物を造れる状況とするならば、そこで良いと感じる。

（委員）利便性を考えると旧消防署周辺がよい。

（会長）皆さんの意見をまとめると、協議会としては人の集まる場所として中学生の利用、公共交通の便などを総合すると地域自治センター周辺ということになる。将来の地域自治センターの有効利用も考慮すると、地域自治センター北側のシルバー人材センターの場所（旧消防署）が適当だろうという結論、方向付けとなるようだ。

事務局は、この内容をまとめて次回までに意見書のたたき台の作成をお願いします。その内容を次回検討します。

（委員）私は文化施設（図書館）と運動公園の総合的な議論は可能と考えているので、当初の協議会の運動公園周辺の実現を希望します。

（委員）学習室の利用度が非常に高いと聞いているのでその充実を願う。

(4)その他

わがまち魅力アップ応援事業の選考調書の集計結果の報告(事務局)

・ダボスの丘遊歩道整備事業（菅平区）

審査結果 大きな問題点の指摘なし

・あずまや高原を憩いの広場に育てる事業（らいてうの家運営委員会）

審査結果 評価点 35点

（会長）集計結果のとおりですので、両事業について採択とする旨の意見を市に述べたいがよいでしょうか。

（全委員）賛成

国道 406号菅平ダム湖に予定される短絡橋の事業計画及び橋名「菅平大橋」について

（担当課：建設課）

協議会のこれからの運営方法（小グループによる討議）の提案（会長）

6 その他

- ・ 次回の開催について(事務局)

7 閉会（佐藤副会長）